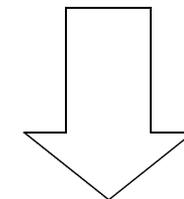


5 単元指導計画（11時間）

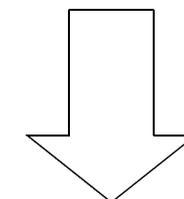
段階	時	学習過程・学習活動	ねらい【関】：関心・意欲・態度 【思】：思考・表現 【気】：気付き	備考（準備等）	
1	1	ねんちょうさんをしょうたいする けいかくをたてよう ・入学した頃のことを想起し、年長児にどんなことを教えたいか、何を一緒にしたいかを話し合う。	○ 年長児に喜んでもらいたいという思いをもち、交流する内容や計画を考えることができる。 ・ 年長児が楽しめるような交流を行おうとしている。【関】		
2	7	しょうたいするじゅんぴをしよう ①学校の様子をどのように伝えるか、年長児と楽しく遊ぶためのルールや遊び方を話し合う。（1）	○ 学校の様子をどのように伝えるか、楽しく遊ぶためのルールや遊び方を考えることができる。 ・ 自分たちの思いも大切にして、一緒に楽しめるような交流を行おうとしている。【関】	・招待状作り ・学校紹介の準備 ・発表練習	
		②招待状作りや交流会の準備、役割分担や発表練習等を行う。（3）	○ 交流会を想定して、学校の様子や遊び方について考えたり練習したりすることができる。 ・ 友だちとアイデアを出し合って、交流会の準備を進めることができる。【思】		
		③招待状を渡し、5歳児とふれ合いながら5歳児の様子を見学する。（1）	○ 5歳児の実態を知ることができる。 ・ 年長児の様子を観察し、年長児とふれ合おうとしている。【関】		← 交流活動 →
		④5歳児の様子（発達）や保育士の様子（園児との関わり）について話し合い、学校の様子や遊び方について変更し、もっと楽しく交流できるように工夫させる。（2）	○ 学校の様子や遊び方について変更し、もっと楽しく交流できるように工夫する。 ・ 学校の様子や遊び方について工夫や改善を加え、年長児も分かり楽しめるものや考えつることができる。【思】 ・ 年長児の活動のできる範囲や話の分かる範囲に気付いている。【気】		・学校紹介の準備 ・発表練習
3	1	たのしくこうりゅうしよう ・5歳児を招待して交流会を行う。 ※本時	○ 交流会をみんなで楽しむことができる。 ・ 年長児の世話をしたり、学校の様子を伝えたり遊んだりすることができる。【思】	← 交流活動 →	
4	2	しょうたいしたことをふりかえろう ・年長児と関わって感じたことや気付いたことを話し合う。 ・年長児にお礼の手紙を書いて届ける。	○ 交流会が計画通りにできたか、年長児が喜んでくれたかを振り返り、年長児へのお礼の手紙をかき、年長児と一緒に活動できた喜びを表現することができる。【思】 ウ 友だちと協力して出来た達成感を感じ、自分や友だちのよさに気付いている。【気】	← 交流活動 →	

保育園児の交流活動に関わる活動・ねらい

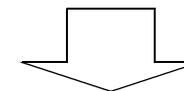
小学校の様子を写真などを通して知り、日頃から交流のことを話題にし、1年生との交流を楽しみにする。



1年生に親しみを持ち、今後の交流を楽しみにする。



1年生に学校の様子や遊び方を教えてもらい楽しんで遊ぶ。



交流会で楽しんだことへの感謝の気持ちを伝える。